アドベンチャーワールド

報道関係者各位　　２０１９年１１月５日

こころにスマイル　未来創造パーク

キタイワトビペンギンの赤ちゃんが２羽誕生しました！

２０１９年１１月５日撮影

アドベンチャーワールド（和歌山県白浜町）において２０１９年１０月３１日（木）・１１月２日（土）キタイワトビペンギンの赤ちゃんが誕生し、ペンギン王国１階にて現在公開中です。当パークでは、事故で卵や赤ちゃんが押しつぶされることを防ぐため、温湿度の管理ができる孵卵器で卵を温め、誕生させています。赤ちゃんは体に力が付き始める（体重約１００ｇ）までスタッフの手で育て、その後親鳥のもとへ返し親子で過ごす予定です。

【キタイワトビペンギンの赤ちゃんについて】

１羽目
- ■孵 化　日：２０１９年１０月３１日（木）
- ■孵化体重：７７.４ｇ
- ■孵化日数：３６日間
- ■性　　別：不明

２羽目
- ■孵 化　日：２０１９年１１月２日（土）
- ■孵化体重：５３.０ｇ
- ■孵化日数：３７日間
- ■性　　別：不明

※公開場所・時間：ペンギン王国１階 育雛室にて、開園から終日ご覧いただけます。

【親鳥主体の子育て方法にチャレンジ ～未来の繁殖を見据えて～】

２００８年よりアドベンチャーワールドでは、キタイワトビペンギンの卵を親から預かり、孵卵器にて孵化させ、その後雛の体重がある程度成長するまで人の手で育て、体力をつけてから親鳥へ返す「初期人工育雛」を行っています。初期人工育雛中、親鳥には擬卵（石灰で作った偽物の卵）を抱かせ、まだ赤ちゃん が生まれてないと思わせます。赤ちゃんが約１００g まで成長したら、擬卵と引き換えに赤ちゃんを抱かせます。

◆昨年の様子◆

擬卵を抱く親鳥

→

赤ちゃんに給餌するスタッフ

→

赤ちゃんと過ごす親鳥

【アドベンチャーワールド ペンギンプロジェクトについて】
　アドベンチャーワールドでは、１９７８年の開園時にフンボルトペンギンとキタイワトビペンギンの飼育を開始し、１９９０年から自然界で暮らすペンギンコロニー（繁殖群）を再現すべく、「ペンギンプロジェクト」として本格的に飼育・繁殖研究に力を注いできました。アデリーペンギン、ヒゲペンギン、ジェンツーペンギン、キングペンギンと繁殖実績を積み、１９９７年に世界最大のペンギン、エンペラーペンギンの繁殖研究を開始しました。

【アドベンチャーワールドのイワトビペンギン繁殖の歩み】
２００３年１２月：現在の飼育群の基となる個体７羽を南アフリカの水族館より搬入
２００６年１０月：初めての繁殖に成功（人工育雛により２羽育成）
２００８年～　　：初期人工育雛による繁殖に成功

【キタイワトビペンギンについて】
■分　類：ペンギン目ペンギン科マカロニペンギン属
■学　名：*Eudyptes moseleyi*　■英 名：Northern Rockhopper Penguin
■生息地：亜南極圏の島々
■寿　命：約 ２０ 年
■食　性：オキアミなどの小さな甲殻類や小魚やイカ
■繁　殖：岩場に大きなコロニーと呼ばれる共同の繁殖場を作り、巣を小枝や石で巣作りをする。
　　１～２個の卵を産卵することが多い。
■特　徴：両足をそろえた状態で、器用に岩場を飛び跳ねて移動することから「イワトビ」の名がついた。
　　頭部にある黄色の飾り羽が特徴的。